

入園・進級 おめでとう！

……ようこそ

保育園に！子育てに！……

ふ ぼ れ ん

父母連 ニュース

草加市保育園父母会連合会機関紙 号外
2008年4月1日発行
発行責任者・阿部 927-2356
高山 943-2616

「バイバイ」がつらいよね！



かわいいかわいい我が子を保育園にあずけて仕事に出かけるなんて、うしろがみを引かれる思いの方がいらっしゃるかもしれません。毎朝、保育園で子どもと「バイバイ」がつらいかな？

もしかしたらおじいちゃんおばあちゃんから「もうちょっと大きくなるまではお母さんといっしょの方がいいんじゃない」なんて言われている方もいる方もいらっしゃるかもしれませんね。

でもだいじょうぶ！

子どもたちは集団の中でたくましく育っていきます。そして保育園には子育ての専門職の集団があります。園長先生をはじめ、保育士さん、子どもの育ちやその日の体調にも配慮しておいしいごはんやおやつを作ってくれる調理士さんや栄養士さん、子どもたちの目の前でなんでも作っちゃう・直しちゃう技能員さん、赤ちゃんをよく知っている看護師さんがそれぞれの専門職の目で、子どもたちみんなの育ちを応援してくれています。



父母会は「みんなで子育て」が合言葉！



親たちの心配や願いを出しあい、お互いに支えあっていく「父母会」があります。子育てをひとりでかかえこまないで！忙しいからこそ、子どもたちをおとなたちみんなで大切に育てて行きたいものです。私たちは仕事をしながらの毎日ですので、父母会も無理なことはできませんし、してはいけません。お互いの条件と持ち味をもちよって、みんなで大切にして、すてきな保育園を育てていきたいとねがって活動しています。父母会はいわば「わたしたち自身の応援団」であり、「保育園の応援団」とも言えましょう。

困ったこと・わからないことは保育園、父母会、父母連へ！

保育園で困ったことやわからないこと、気になることがあったら、ひとりで悩みこまないで、まずは保育園の先生に率直に相談してみましょう。子どもの育ちや保育園での生活についても、積極的に職員とコミュニケーションをとっていきましょう。また、保育園の中だけで解決できないことは、みんなで助け合って、解決できるまでを考えていけるはずですよ。そしてみんなで子育てをしながら、楽しい充実した保育園ライフを！



草加市保育園父母会連合会(ふぼれん)って?!

草加の父母連のルーツ

草加市保育園父母会連合会(通称「父母連:ふぼれん」)は、市内にある19保育園の父母会が参加して作っています。世帯数では約1600世帯です。

なんで父母会の連合会なの?

ただでさえ忙しい毎日。父母会の役員や係も「できれば遠慮したい」という気持ち、当然!。子どもの病気で仕事を休むこともしょっちゅうで大変なのに、父母会!? 我が子が通う保育園の父母会ならほかのおかあさん・おとうさんと知り合うチャンスだし、保育園の職員とも知り合えるけど、さらにフボレン!?

高い保育料のこと、保育園に入れないで待機児とされて認可外の保育施設を利用しなければならぬこと、保育園や子育て世帯への施策を充実させてほしいねがいなどはひとつの保育園の中だけでは解決できるものではありません。

市役所にひとりの保護者やひとつの保育園父母会が相談に行っても、担当者もみんなのねがいとして受け止めることはなかなかできません。

そこで、父母会がみんなであつまって、子育て世帯の状況、子どもたちの様子、それぞれの保育園での心配なこと、「こうあってほしいなあ」「こんなすてきなことがあったんだよ」「困っちゃっている」ことを出し合い、保護者の声として整理していくわけです。

みんなに支えられている父母連

草加父母連は、各父母会の活動が作っています。

全父母会が参加する毎月定例の代表者会や父母会の会長会などで情報交換やわたしたちのねがいの実現のための取り組みの検討を行い、市保育課との折衝や情報交換を日常的に行っています。

もちろん、保育課レベルで解決できることとできないことがあります。保育課のがんばりを応援し、課レベルではできないことについては、市、県、国の課題であると整理して県内、全国のなかまとの一緒のとりのくみの必要が見えてきます。

市議会議員も保育園の応援団!

父母連は全部の会派の議員に折々に活動報告や懇談を持っていただいたりして、さまざまなアドバイスをいただけています。父母連の請願や陳情に誠実に対応していただいています。草加の保育園の応援団として議員さんのかかわりは大変心強い限りです。

父母連の総会や要望集会には与党・野党を問わず、いくつもの会派からご参加や同席をいただき、子育てについて熱心に耳を傾けてくださっています。

当たり前のことですが、父母連は「子どもたちのたしかな成長をねがう保育園保護者」ということに土台を置いているあつまりですので、特定の信条を押し付けたり排除するものではありません。

また、市長宛の要望書を提出し、要望集会や市長さんとの懇談会を行っています。

つぶやきからはじまるとりくみ

さらに当たり前のことですが、私たち保育園保護者の日ごろのつぶやきを声にしていこうとすることが基本です。

国の政策の矛盾が具体的にあらわれている草加の状況、わが子の状況を具体的に明らかにして取り組みを作っています。「べきべし」が先にたっちゃんとかえって問題が見えにくくなってしまいがちです。

ちょっとしたつぶやきから始まる問題の整理と提案が基本なのだと考えています。

「草加の子どもたちみんな」

保育園待機児が年度末には400人を超す草加市です。「保育園の中の改善要求」だけでは、すべての子どもたちのたしかな育ちをねがうことにはなりません。

草加父母連が毎年行っているアンケートでは、約4割の保育園の子どもたちが、保育園に入る前に認可外保育施設を利用している実態を示しています。その理由の7割が「待機児とされたから」ということです。

保育園に入れない子どもたちの状況を明らかにして、具体的な手立てを市や国が行える具体的な提案していく必要があります。

市内の子育て団体といっしょに

子育ての苦労やよろこびは保育園・保育施設の保護者に限りません。家庭で子育てしている世帯、幼稚園保護者も、障がいを持つ子どもの保護者も、外国籍の保護者も、みんなそれぞれの困難を持っています。

これらの課題に取り組んでいる市民の自主的なさまざまな子育て支援サークルがたくさんあります。正真正銘のみんな子育て!ができる可能性がたくさんあるのです。草加の子育てに欠かせない家庭保育室の皆さんとも日常的に相談をさせていただいています。

父母連のこれまでの取り組みや課題

障がい児保育(育成保育)の全園実施(04年度) 産休明け保育の実施 「協力期間」のとりやめ 市の保育園統廃合方針の撤回と保育園の新設 全保育室へのエアコンの整備 延長保育の開始 第2きたうら保育園の存続 保育園と家庭保育室利用の保育料きょうだい減免

もちろん、長年取り組んでいてまだ実っていない課題もあります。